

## 消防認定品

# 直流100V 蓄電池設備

長寿命リチウムイオン電池 **FORTELION** 搭載

**災害に強い非常電源が登場**  
**リチウムイオン電池で初めて消防認定を取得 (型式認定番号 19A8005)**

### ◎鉛電池仕様に比べてサイズと重量が半分以下

建物上層階にも設置ができる軽量コンパクト設計、  
 ゲリラ豪雨浸水対策として上層階設置にお勧めです。

### ◎建築構造負担もコストも軽減

軽量低重心だから耐震クラスS対応が簡単にできます。  
 完成品を台車で搬入可能。重機などの搬入施工コストを低減します。  
 地下排水設備や建物構造対策コストを低減します。  
 既築更新なら建物負担軽減で耐震性が向上します。



EPS-04040BT  
 (直流電源容量 4kVA, 定格蓄電池容量 40Ah)

### ◎長寿命リチウムイオン電池 (期待寿命15年)

長寿命・高安全なオリビン型リン酸鉄リチウムイオン電池により15年間電池交換不要。  
 鉛電池では必要だった電池交換にかかる労力や手間とコストを削減できます。

### ◎環境にやさしく簡単メンテナンス

自己放電がほとんどなく補充電も抑制できるため、電気代削減やCO2排出削減につながります。  
 設置環境温度条件にも強く、ガスの発生もなく、電池ローテーションや補水液等も不要。  
 BMU(バッテリーマネジメントユニット)で蓄電池の状態を常時管理しており、点検時の数値データも取得可能。  
 (※メーカー指定の保守作業による)

ラインアップ	機器構成	用途
直流100V 蓄電池設備 (消防認定品)	(株)富士電工製 整流器 ・電源出力*：4kVA, 8kVA, 12kVA ・入力：単相2線/三相3線 200V ・出力：直流 (DC) 100V (株)村田製作所製 リチウムイオン蓄電池 ・電池容量*：4kWh(40Ah),8kWh(80Ah), 16kWh(160Ah) ・オプション： AC100V交流出力インバータ * 電源容量 / 電池容量など 要求仕様にあわせてカスタマイズ可能 お見積り製造致します	<b>消防設備用非常電源</b> 15年間電池交換不要：維持費低減 鉛電池に比較して、体積2分の1、重量3分の1 建物上層階にも設置できる軽量コンパクト設計 ゲリラ豪雨浸水対策⇒上層階への設置にお勧めです。 (水害から非常電源消失を防ぐ)  <b>その他</b> 受電盤等の制御電源 中央監視等 計装用電源・操作電源

## ■主な仕様

(型式末尾) S:単相入力モデル, T:三相入力モデルになります。

型 式	EPS-04040BS EPS-04040BT	EPS-04080BS EPS-04080BT	EPS-04160BS EPS-04160BT	EPS-08160BS EPS-08160BT
	消防庁登録機関 一般社団法人 日本電気協会 型式認定番号 19A8005			
直流電源容量	4kVA			8kVA
定格蓄電池容量(1時間率)	40Ah	80Ah	160Ah	
入力電圧	単相2線式 / 三相3線式 AC200V 50/60Hz			
定格出力電圧	DC112.7V±2% (浮動充電) ※電圧調整可能 (±3%)			
電源定格電流	40A			80A
空冷方式	自然空冷			
効率	単相機:88%、三相機:90%			
蓄電池	オリビン型リン酸鉄リチウムイオン電池			
出力ブレーカー/数	10AT, 15AT, 20AT, 30AT, 50AT / 最大6出力*		10AT, 15AT, 20AT, 30AT, 50AT / 最大8出力*	
設置条件	屋内			
塗装色	5Y7/1半ツヤ			
外形寸法(幅×奥行×高さ)	700×760×1,650mm		1,200×760×1,750mm	
質量	約300kg	約360kg	約670kg	約680kg
環境温度	-5~40℃			
オプション	・SID (15A, 30A, 60A) ・多出力対応盤 ・天笠 ・屋外キュービクル			

\* 出力ブレーカーの容量と数を選択できます。最大出力数を超える場合は、オプションの多出力対応盤にて対応できます。  
※ 電源容量 / 電池容量など、更に大きなものが必要な場合は、別途営業にご相談ください。

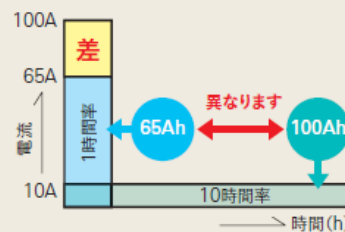
## 参考情報：鉛電池容量比較

型 式	MSE-50	MSE-100	MSE-200
鉛電池容量(1時間率)	32.5Ah	65Ah	130Ah

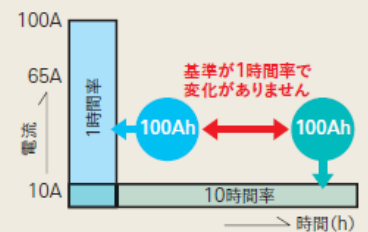
### ※リチウムイオン電池と鉛電池の放電容量差について

一般的な鉛蓄電池(MSE)は10時間率と1時間率で容量に差がありますが、リチウムイオン電池は10時間率と1時間率で容量差はほとんどありません。非常電源のように短時間で放電する場合でも、定格容量分をフルに活用することができ、電池導入コストを削減できます。

#### ◎鉛電池(例:MSE)



#### ◎リチウムイオン電池



## ■蓄電システム ホームページ

ご提案資料ダウンロード、最新の事例紹介もご確認いただけます。

<https://www.sony.jp/pro-battery/>



## ■お問合せ先

下記のお問合せサイトからお問合せいただけます。

<http://www.sony.jp/professional/inquiry/>



ソニーの蓄電システムの情報は [sony.jp/pro-battery/](https://www.sony.jp/pro-battery/) 購入に関するお問い合わせは 業務用商品購入相談窓口[フリーダイヤル] 受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日・および弊社休業日は除く)

**0120-580-730**

©「ソニー」および「SONY」、ならびにソニーの商品名、サービス名およびロゴマークは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。その他の商品名、サービス名、会社名またはロゴマークは、各社の商標、登録商標もしくは称号です。本文中では、TM、®マークは明記していません。◎商品を安全に使うために必ず「取扱説明書」をよくお読みください。◎掲載商品の仕様や外観は改良のために予告なく変更することがあります。

Sony Marketing Inc.  
ソニーマーケティング株式会社

記載内容2021年5月現在